

山陰道（小浜～田万川） 第1回意見聴取結果

平成29年8月22日

国土交通省 中国地方整備局

目次

1. 意見聴取の概要	．．．	2
2. アンケート調査結果	．．．	6
3. アンケートクロス集計結果	．．．	17

1. 意見聴取の概要

2. 第1回意見聴取の結果

4) 意見聴取の実施

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設や道の駅や観光地での調査員による聞き取り調査を実施。
- ホームページにアンケートをバナー掲載し、インターネットによるアンケートの調査も実施。

■道の駅等での道路利用者アンケート票の常設



▲益田市役所

■道の駅や観光地での調査員による聞き取り調査



▲グラントワ(益田)

■ホームページへのアンケートバナーの掲載



▲道の駅 サンエイト美都



▲道の駅 ゆとりパークたまがわ

2. 第1回意見聴取の結果

6) 意見聴取の内容

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

- 現況の問題点・解消すべき課題
- 利活用のアイデア・配慮すべき事項
- その他自由意見

質問1 「小浜～田万川間」の国道191号には、以下の①～⑦の交通課題があります。その他に、どのような課題があると思いますか。感じていることをご自由にお書きください。

- ① 各拠点への移動に時間がかかる
- ② 急カーブ、急勾配区間が存在し、快適に走行できない
- ③ 交通事故が発生しやすく、危険である
- ④ 交通事故による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる
- ⑤ 大雨による通行止めが発生すると、大きな迂回を強いられる
- ⑥ 歩道が無い箇所があり、危険である
- ⑦ 大型車が多く、危険である

質問2 この地域の将来を見据えた改善すべき地域の課題について、以下の①～⑤の質問に対して、**5段階評価**でお答えください。

<5段階評価> 5. 強くそう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大幅な迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野町との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている

質問3 山陰道が利用しやすい道路となるためのアイデアや、山陰道を整備する上で配慮した方が良いと思うことについて、考えられることをご自由にお書きください。

質問4 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

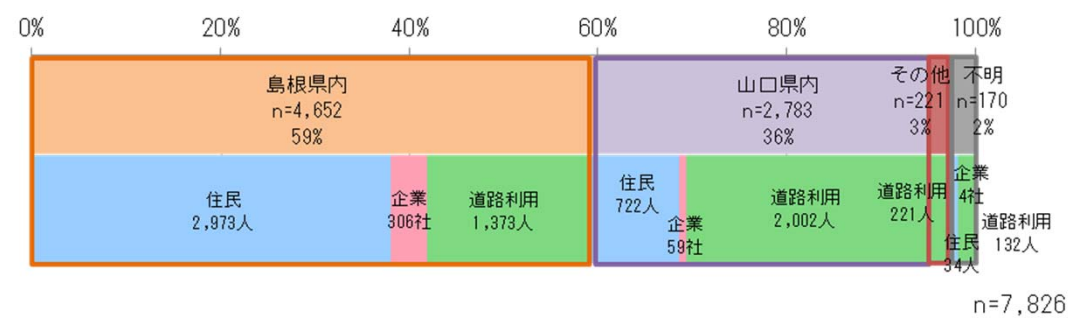
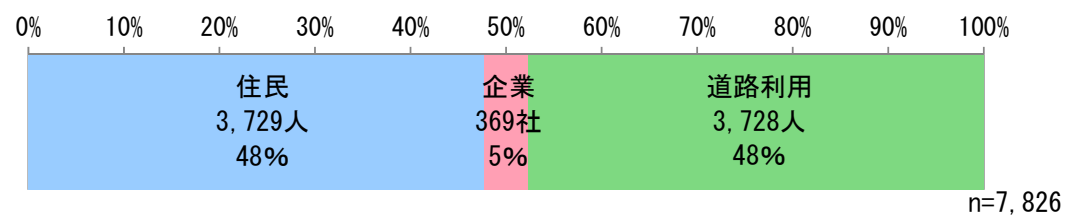
2. アンケート調査結果

2. 第1回意見聴取の結果

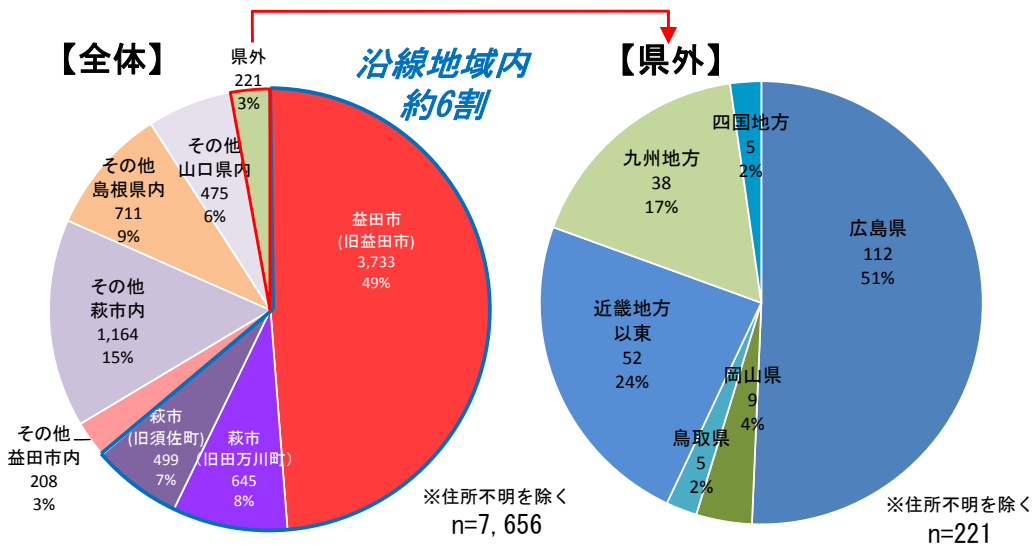
7) 属性

- 住民約3,700人、企業約370社、道路利用者約3,700人から意見聴取を実施。
- 回答者のうち、益田市(旧益田市)、萩市(旧田万川町)、萩市(旧須佐町)からの回答は約6割。
- 回答者のうち、性別は男性が約7割、年代別に見ると、世帯主と想定される60代以上の回答が住民アンケートでは約6割、道路利用者アンケートでは約3割。

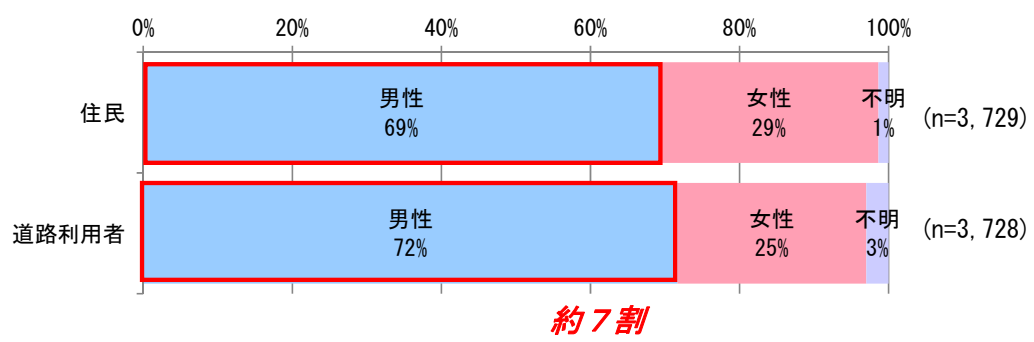
アンケート回収状況



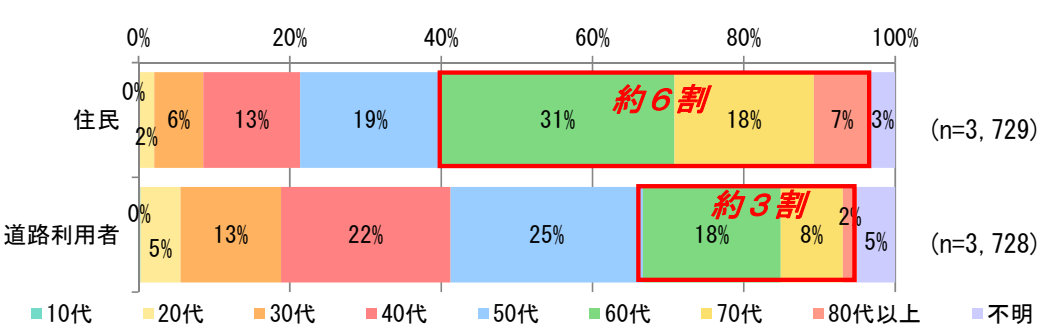
回答者住所



性別



年代

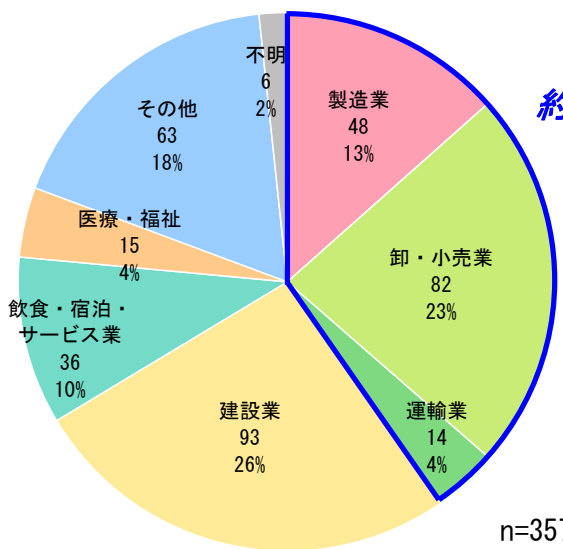


2. 第1回意見聴取の結果

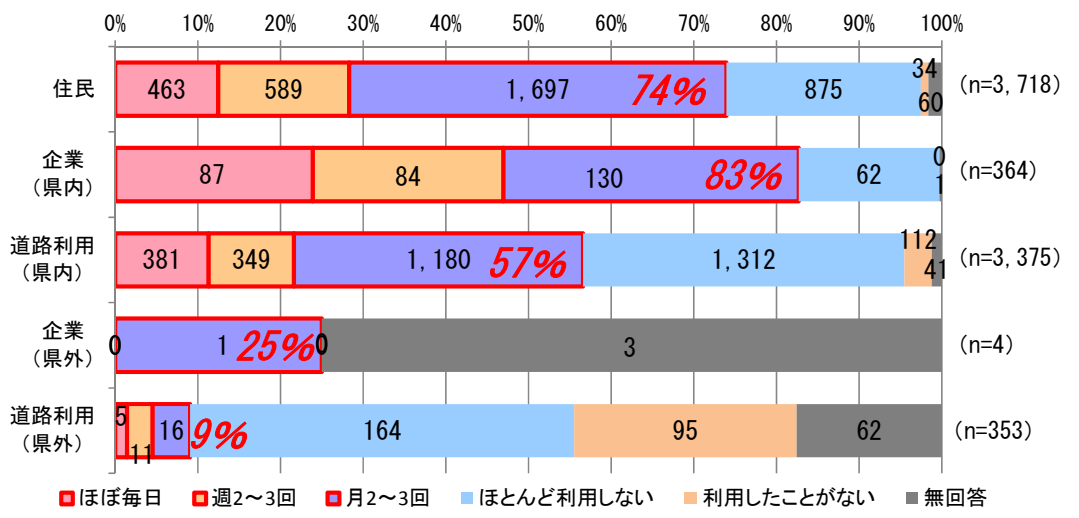
1) 属性②

- 企業アンケートは、商品や製品の輸送を行う「卸・小売業」「運輸業」「製造業」からの回答が約4割。
- 住民の7割以上が当該区間(小浜～田万川間)を「月2～3回以上利用している」と回答。
- 利用目的は「買い物」「観光・レジャー」と回答した方が多い。

業種

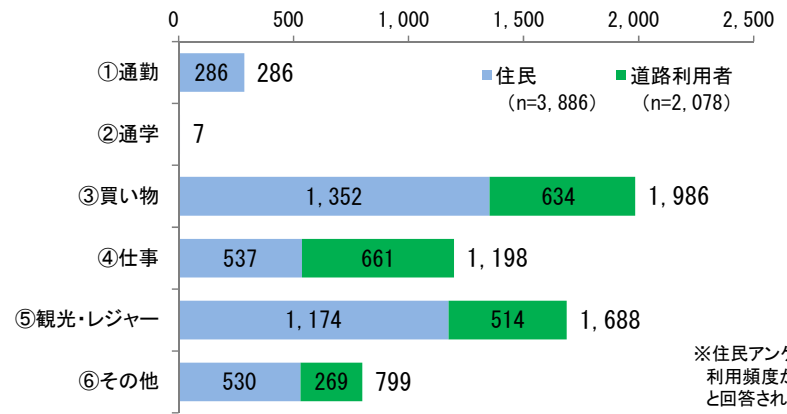


現在の小浜～田万川間の国道191号の利用頻度



※住所不明の住民は県内として処理
 ※住所不明の企業、道路利用者は県外として処理
 ※複数回答を除く

現在の小浜～田万川間の国道191号の利用頻度



※住民アンケート及び道路利用者アンケートで
 利用頻度が「ほぼ毎日」「週2～3回」「月2～3回」
 と回答された方のみ対象

2. 第1回意見聴取の結果

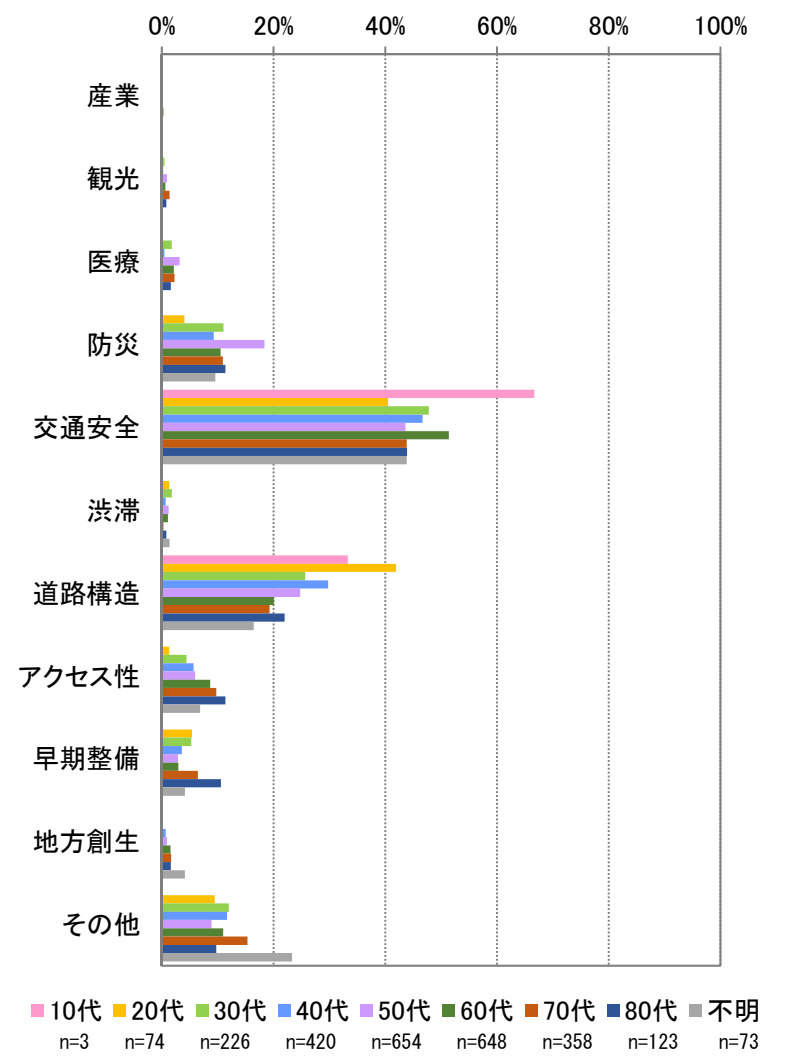
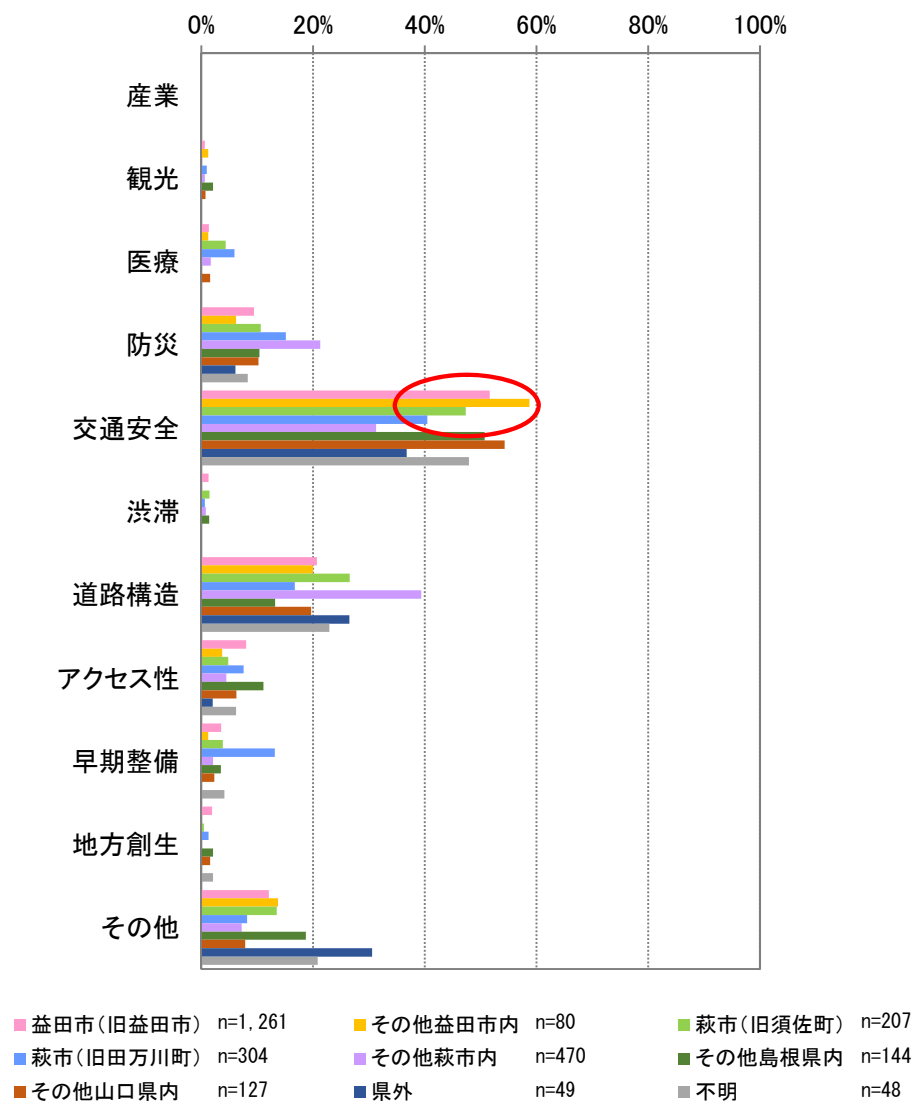
2) 交通の課題

○地域別において、益田市(旧益田市)、その他益田市内、萩市(旧須佐町)、萩市(旧田万川町)など沿線地域で交通安全に対する課題認識が高い。

○年代別においては、最も課題意識の高い交通安全について、年代での大きな差は見られない。

地域別の交通の課題

年代別の交通の課題



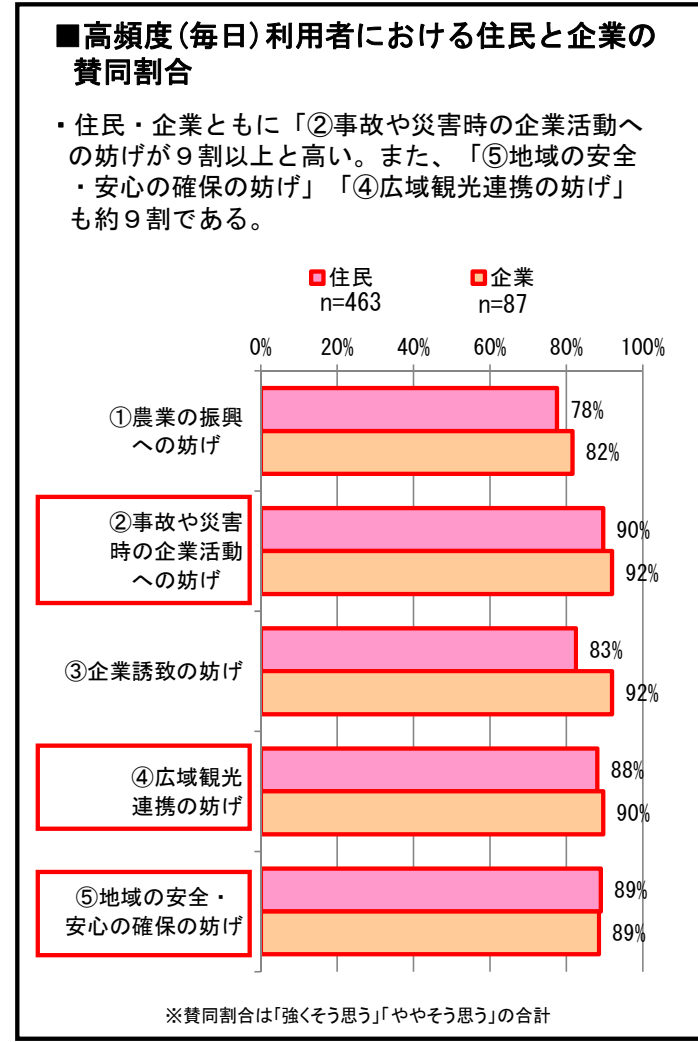
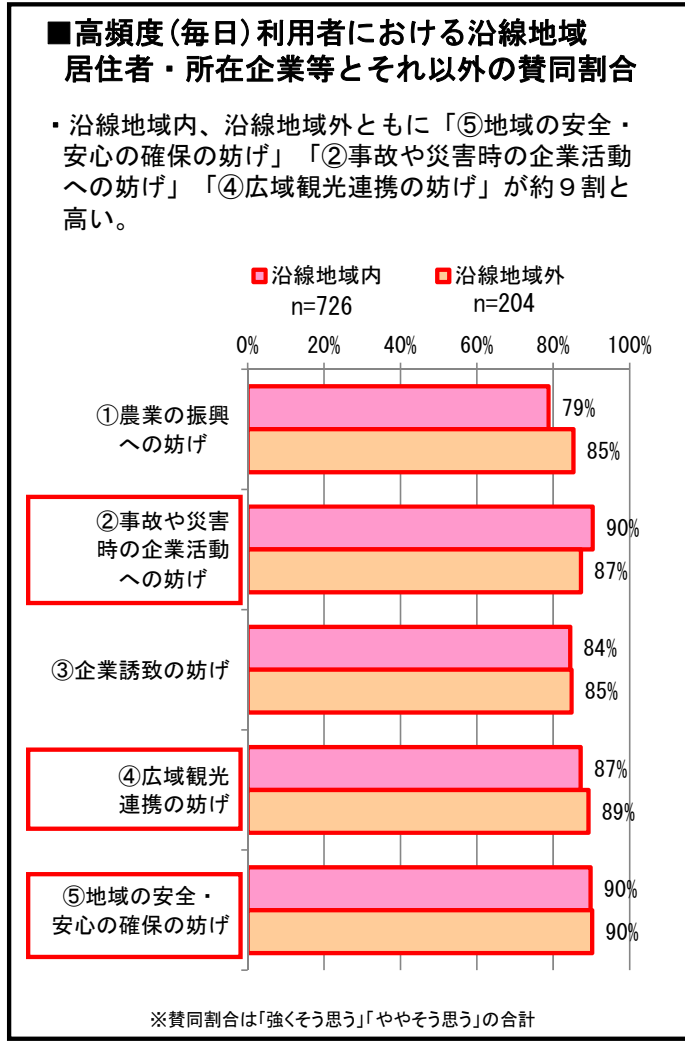
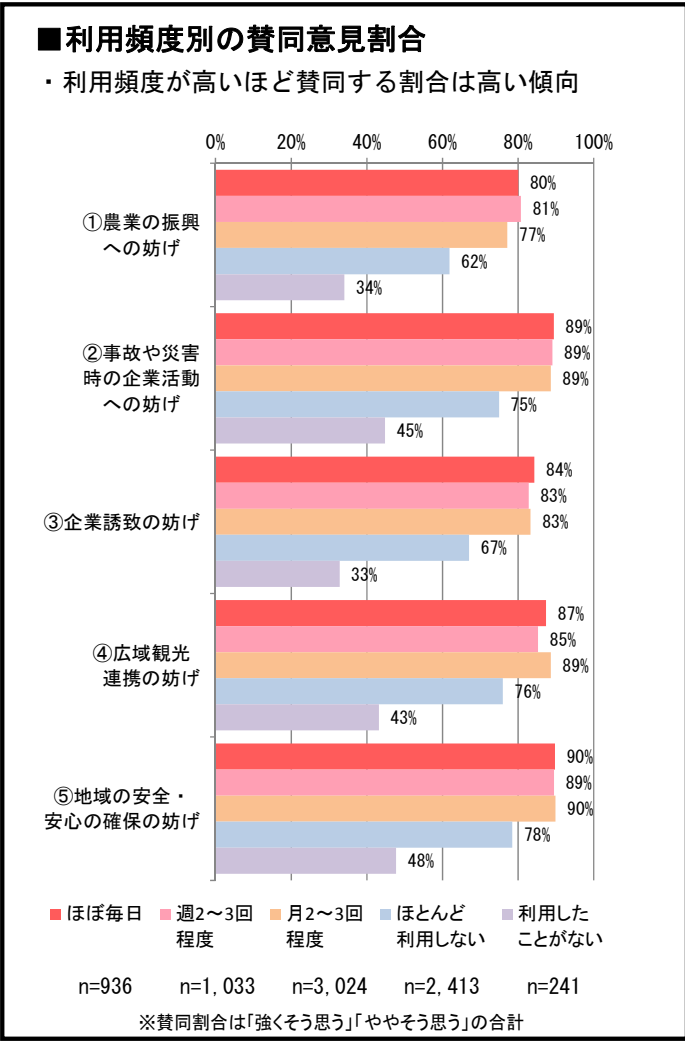
2. 第1回意見聴取の結果

3) 地域の課題①

- 利用頻度が高くなるほど、課題に対する賛同割合は高い傾向。
- 高頻度利用者(毎日利用)においては、沿線地域・沿線地域外、住民・企業等に関わらず、課題認識が高い。

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大きな迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野市との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている

利用頻度別の地域の課題



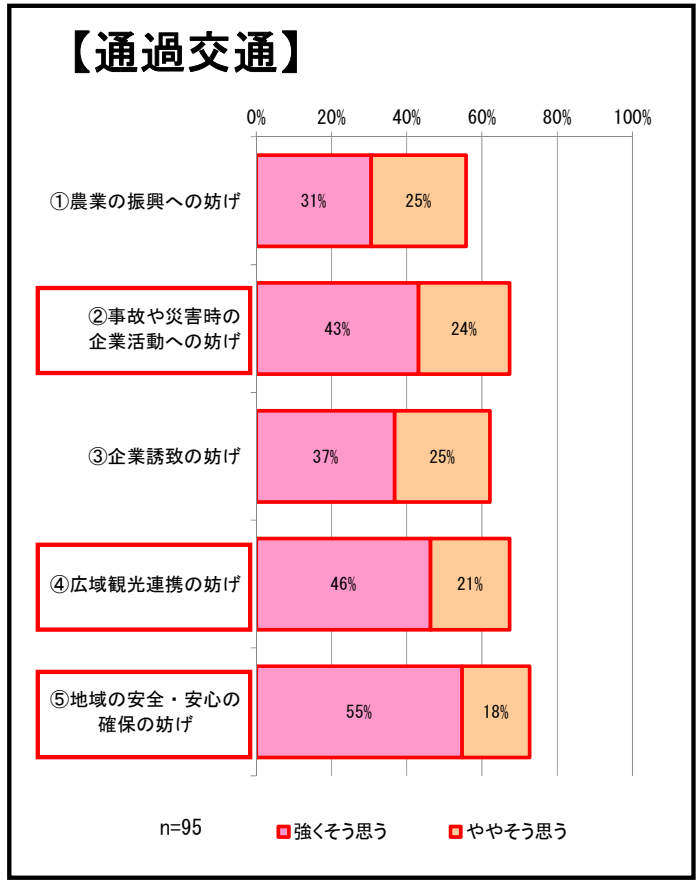
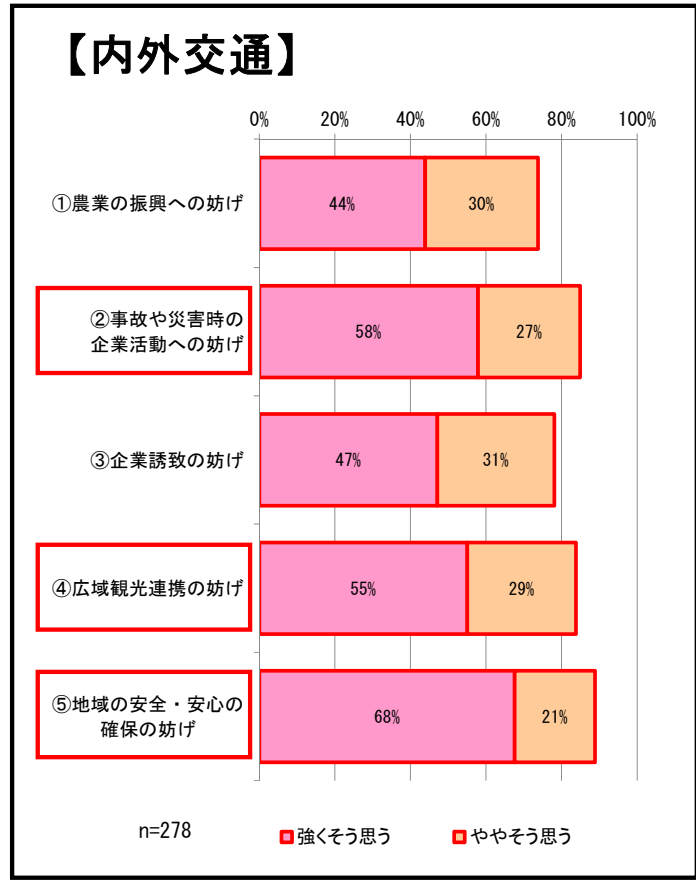
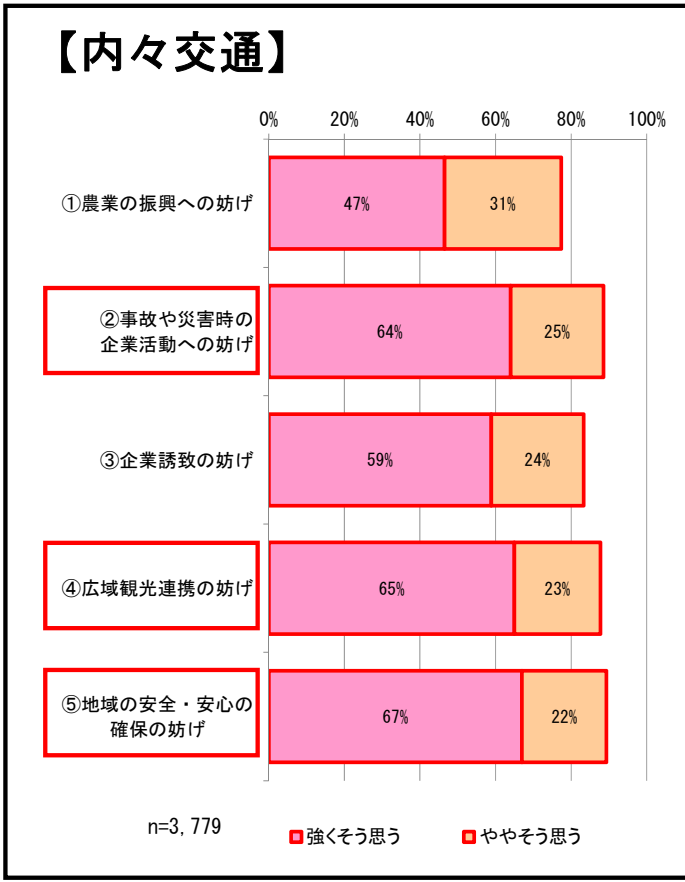
2. アンケート調査結果

3) 地域の課題②

○交通特性別に集計した結果、内々交通の課題意識が高い傾向。
 ○どの交通特性においても、「⑤地域の安全・安心の確保の妨げ」「②事故や災害時の企業活動への妨げ」「④広域観光連携の妨げ」に対する課題認識が高い。

交通特性別の地域の課題

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大きな迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野市との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている



内内交通：発着地ともに益田市もしくは萩市、阿武町の交通
 内外交通：発着地のいずれかが益田市もしくは萩市、阿武町の交通
 通過交通：発着地ともに益田市もしくは萩市、阿武町以外の交通

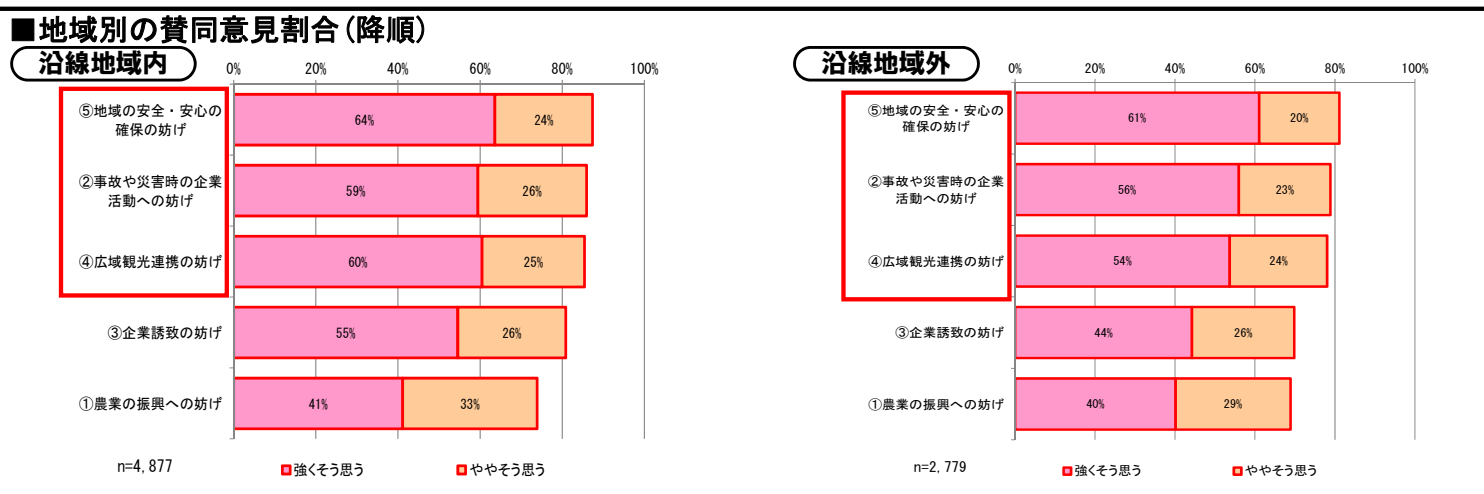
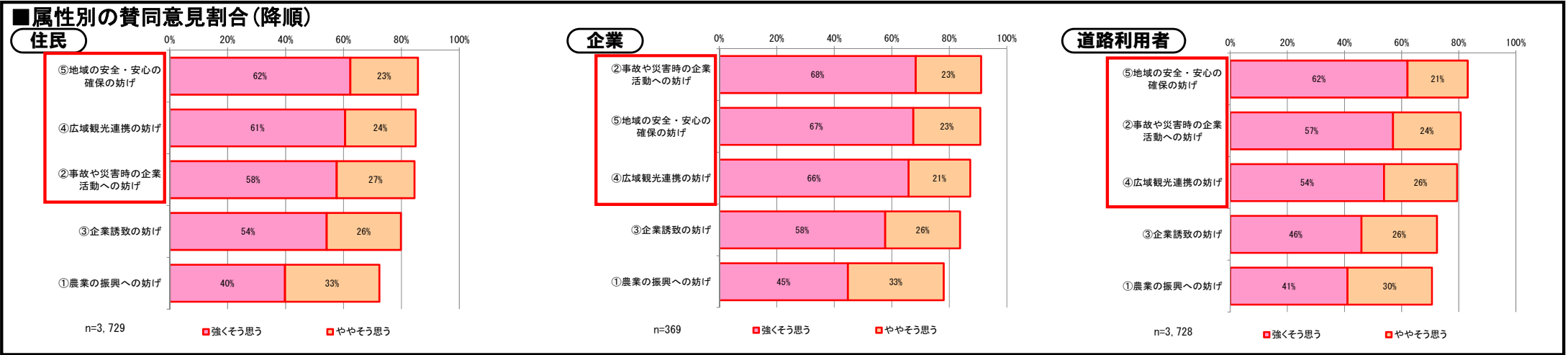
2. 第1回意見聴取の結果

3) 地域の課題③

○全ての属性において、賛同する地域の課題の上位3項目は「②事故や災害時の企業活動への妨げ」「④広域観光連携の妨げ」「⑤地域の安全・安心の確保の妨げ」となっている。
 ○居住地・所在地別でも同様の傾向を示しており、沿線地域内の方がより課題認識が高い。

属性別の地域の課題

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大きな迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野市との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている



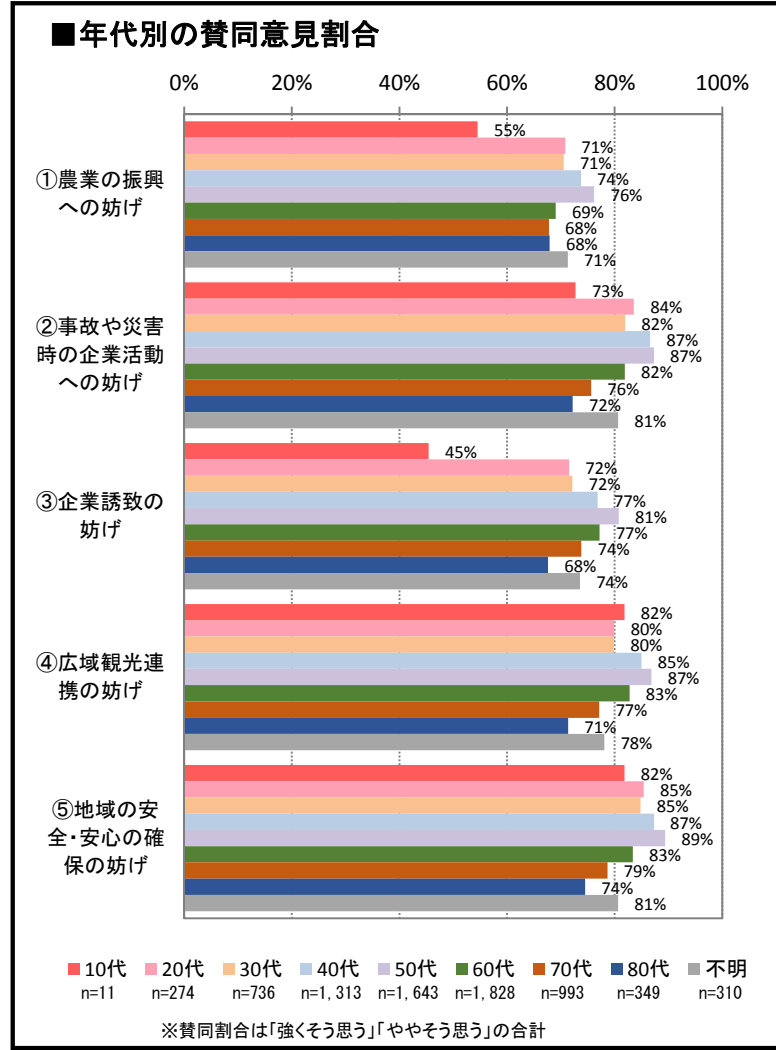
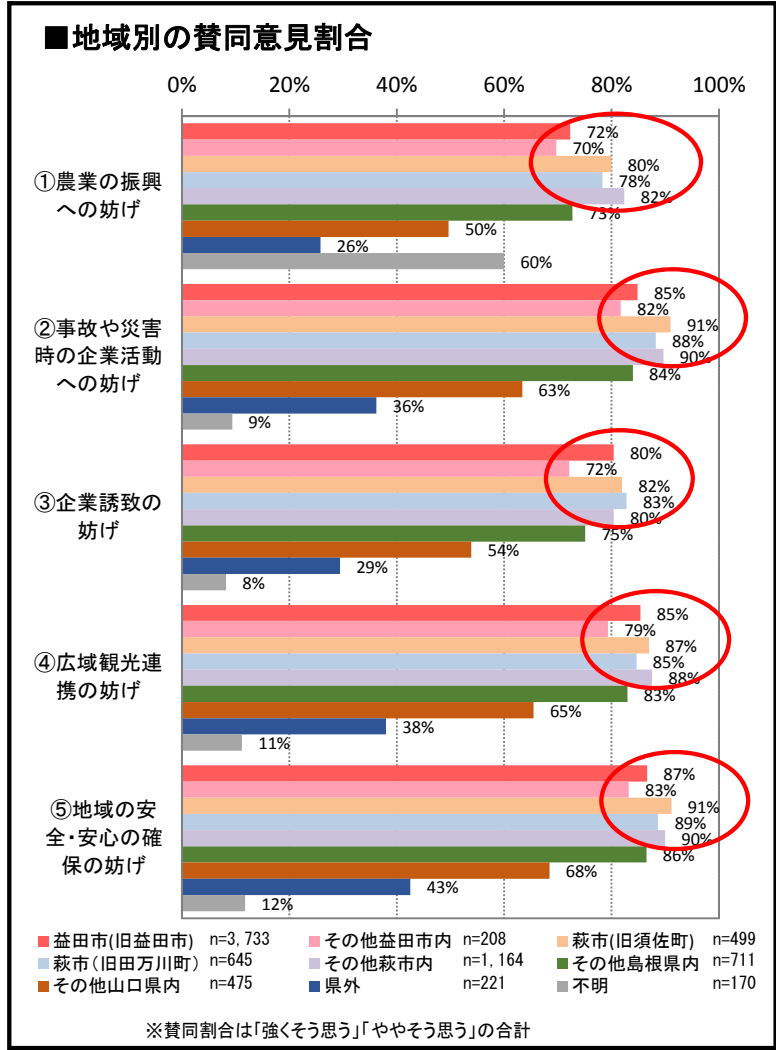
2. 第1回意見聴取の結果

3) 地域の課題④

- 地域別において、沿線地域を含む益田市、萩市の課題に対する賛同割合が高い傾向にある。
- 年代別において、各項目とも年代での大きな差は見られないが、70代、80代はやや賛同割合が低くなる傾向がある。

地域別、年代別の地域の課題

- ① 地域の主要産業である農業の振興には、今の道路では時間がかかり、「産地の維持」や「販路拡大」の妨げとなっている
- ② 事故や災害時に通行止めや大きな迂回を強いられ、安定した企業活動の妨げとなっている
- ③ 高速道路までの距離が長く時間もかかることが、石見臨空ファクトリーパークへの企業誘致の妨げとなっている
- ④ 移動時間が長いことが、萩・石見空港のある益田市と著名な観光地がある萩市、津和野市との広域観光連携の妨げになっている
- ⑤ 救急搬送において、今の道路では線形が悪く、搬送時間がかかることが、地域の安全・安心の確保の妨げとなっている



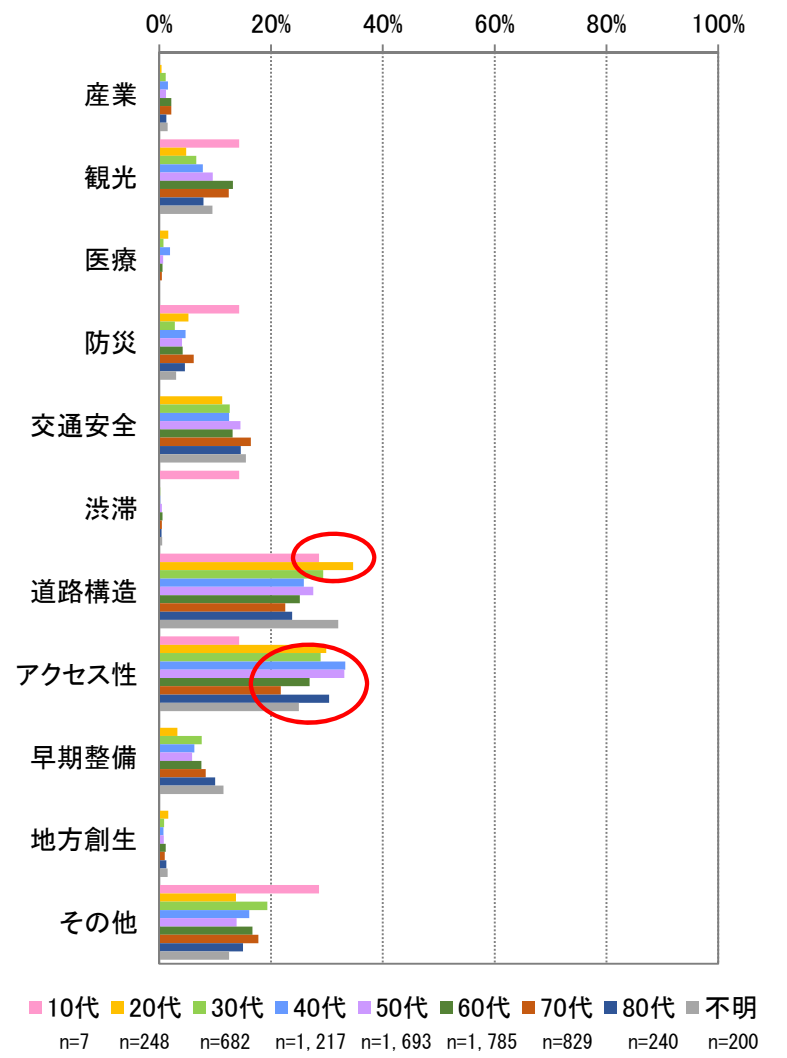
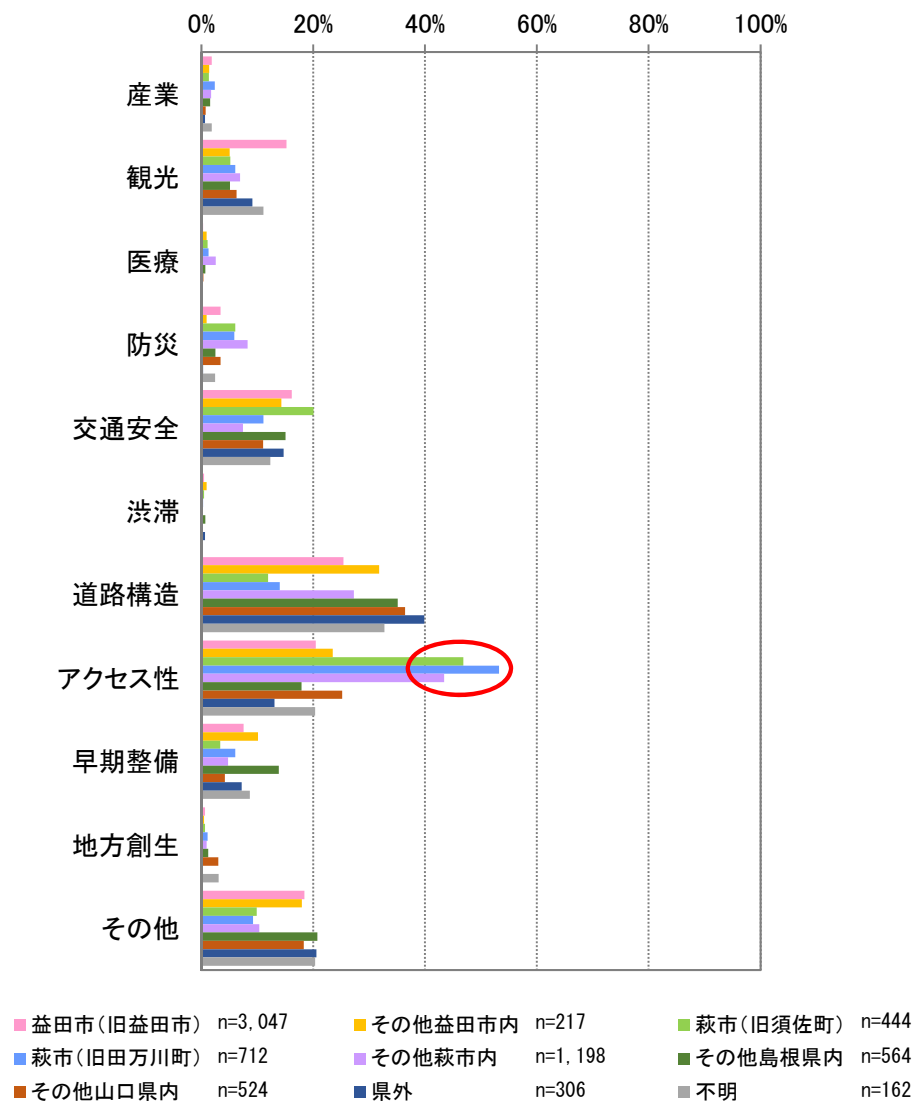
2. 第1回意見聴取の結果

4) 利用しやすい道路となるためのアイデア、配慮事項

- 地域別においては、萩市はアクセス性に対する意見が多い。
- 年代別においては、20代以下は道路構造に対する意見が多いのに対し、30代以上はアクセス性に対する意見が多い傾向がある。

地域別のアイデア、配慮事項

年代別のアイデア、配慮事項

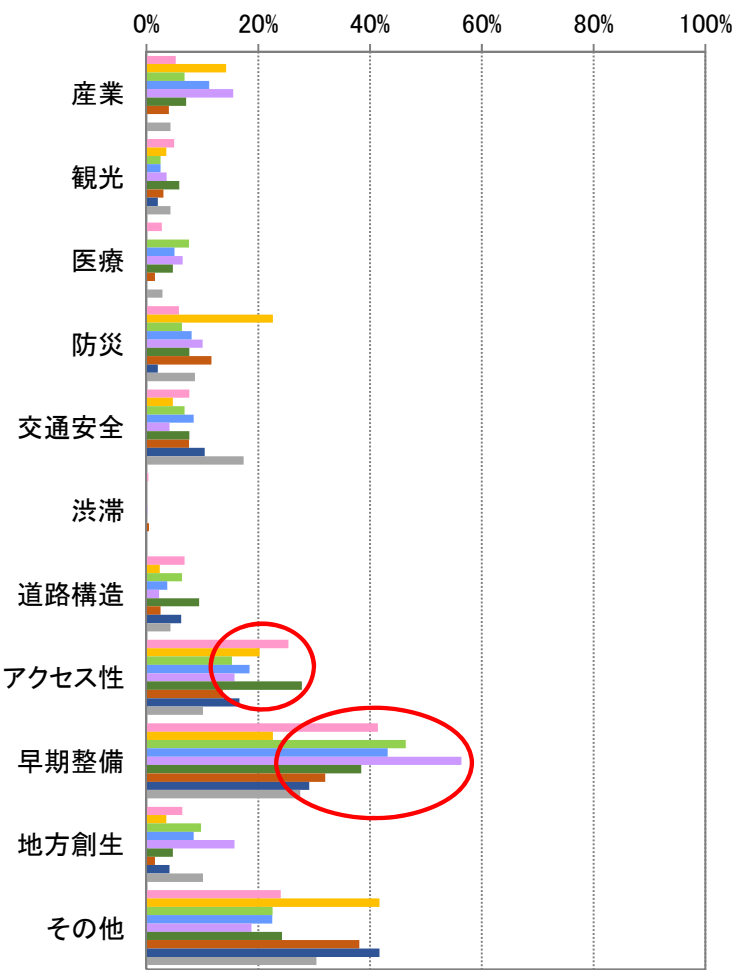


2. 第1回意見聴取の結果

5) 道路整備の必要性、今後の方向性①

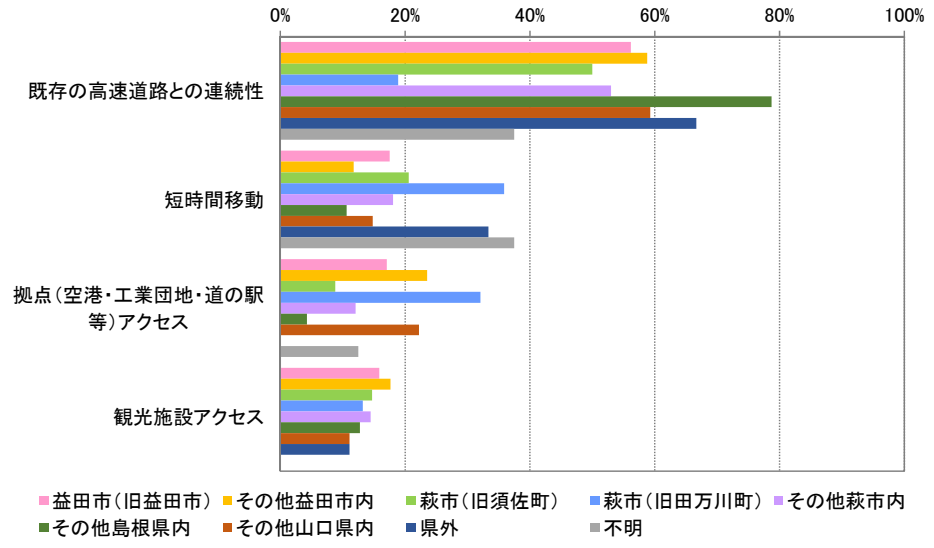
○山陰道(小浜～田万川間)に対し、早期整備への期待、拠点アクセスの向上やネットワーク整備といったアクセス性に関する期待が強い。

地域別の必要性、方向性

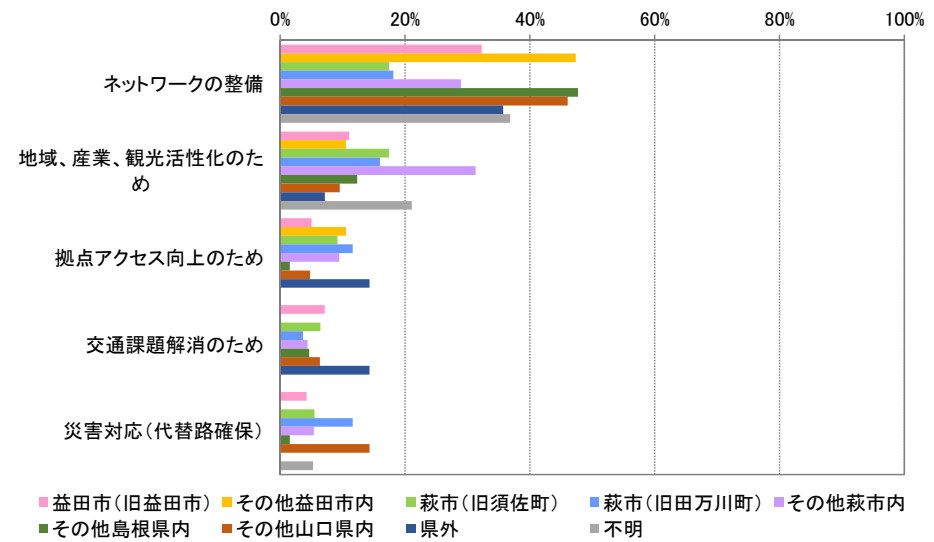


益田市(旧益田市) n=1,729 其他益田市内 n=84 萩市(旧須佐町) n=235
 萩市(旧田万川町) n=320 其他萩市内 n=527 其他島根県内 n=169
 其他山口県内 n=197 県外 n=48 不明 n=69

地域別のアクセス性に関する意見の内訳



地域別の早期整備に関する意見の内訳



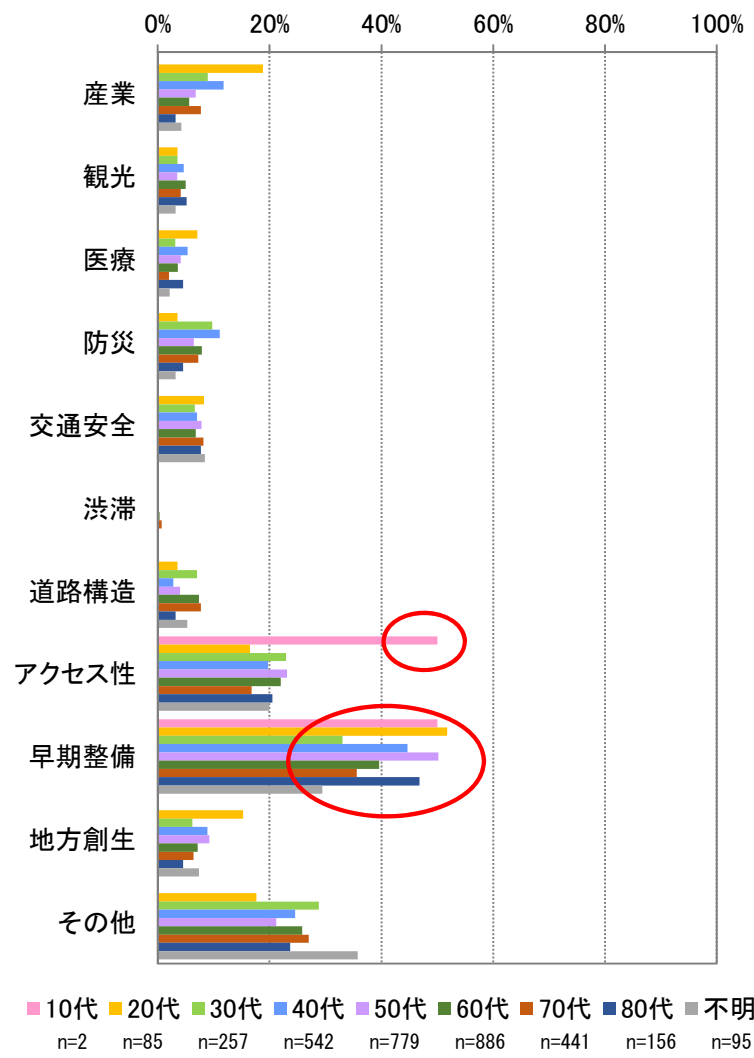
益田市(旧益田市) 其他益田市内 萩市(旧須佐町) 萩市(旧田万川町) 其他萩市内
 其他島根県内 其他山口県内 県外 不明

2. 第1回意見聴取の結果

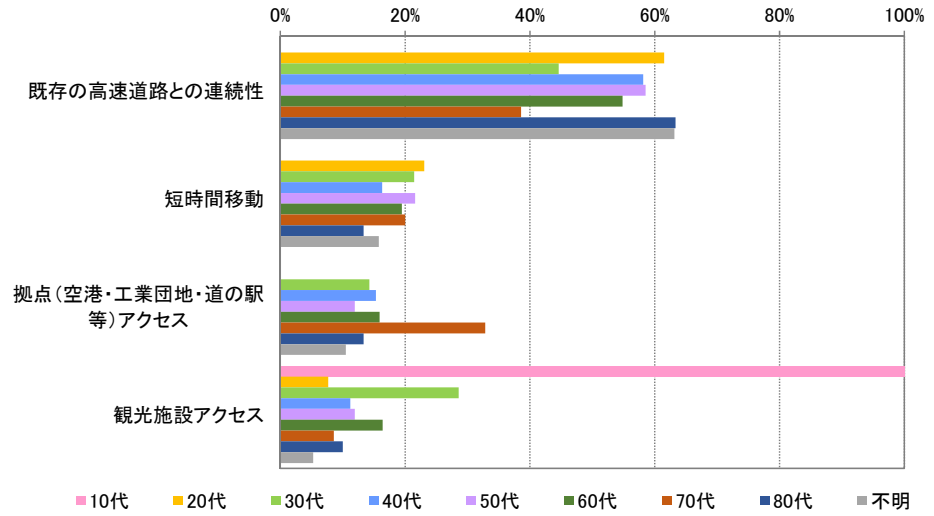
5) 道路整備の必要性、今後の方向性②

○山陰道(小浜～田万川間)に対し、早期整備への期待、拠点アクセスの向上やネットワーク整備といったアクセス性に関する期待が強い。

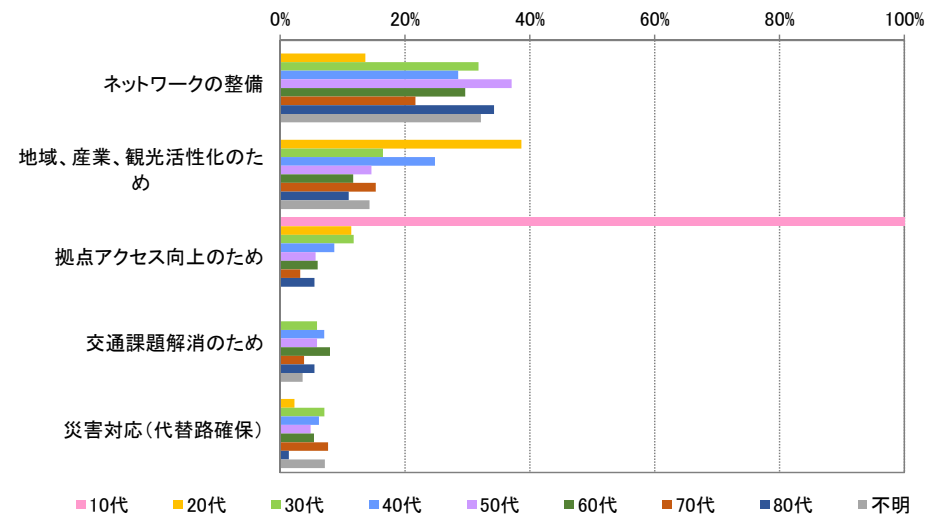
年代別の必要性、方向性



年代別のアクセス性に関する意見の内訳



年代別の早期整備に関する意見の内訳



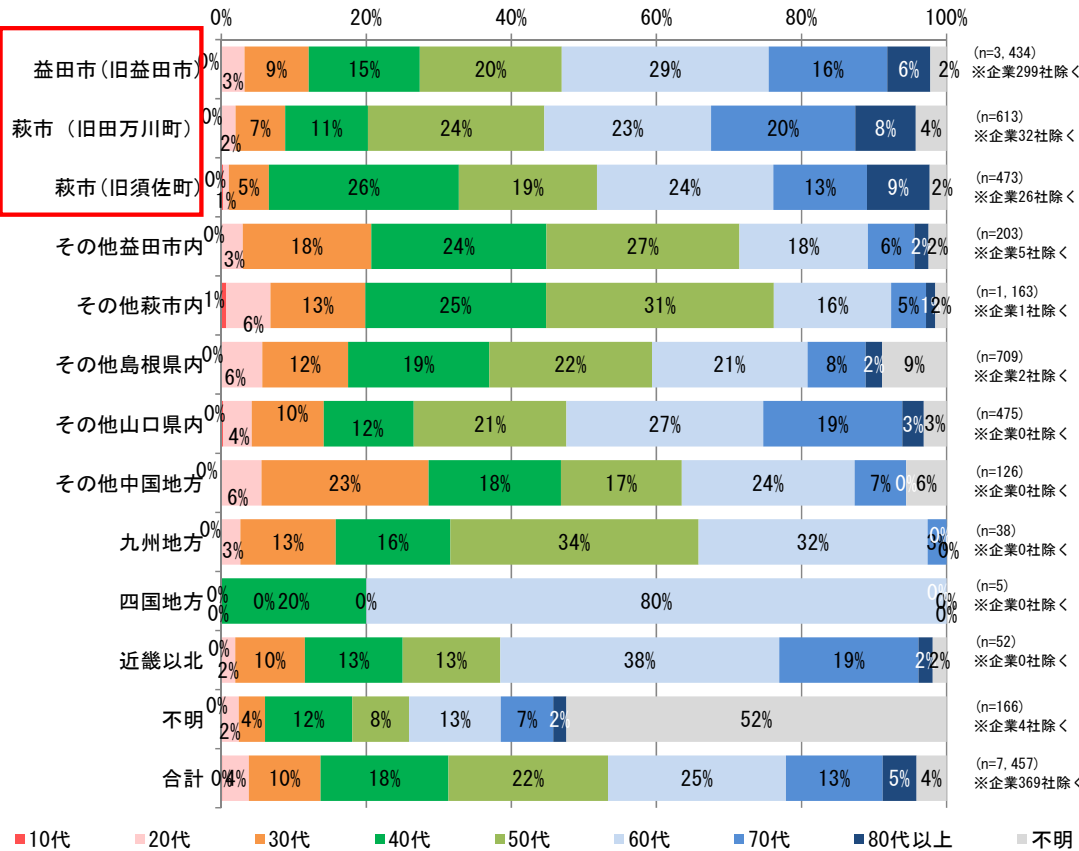
3. アンケートクロス集計結果

3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析① (住所別)

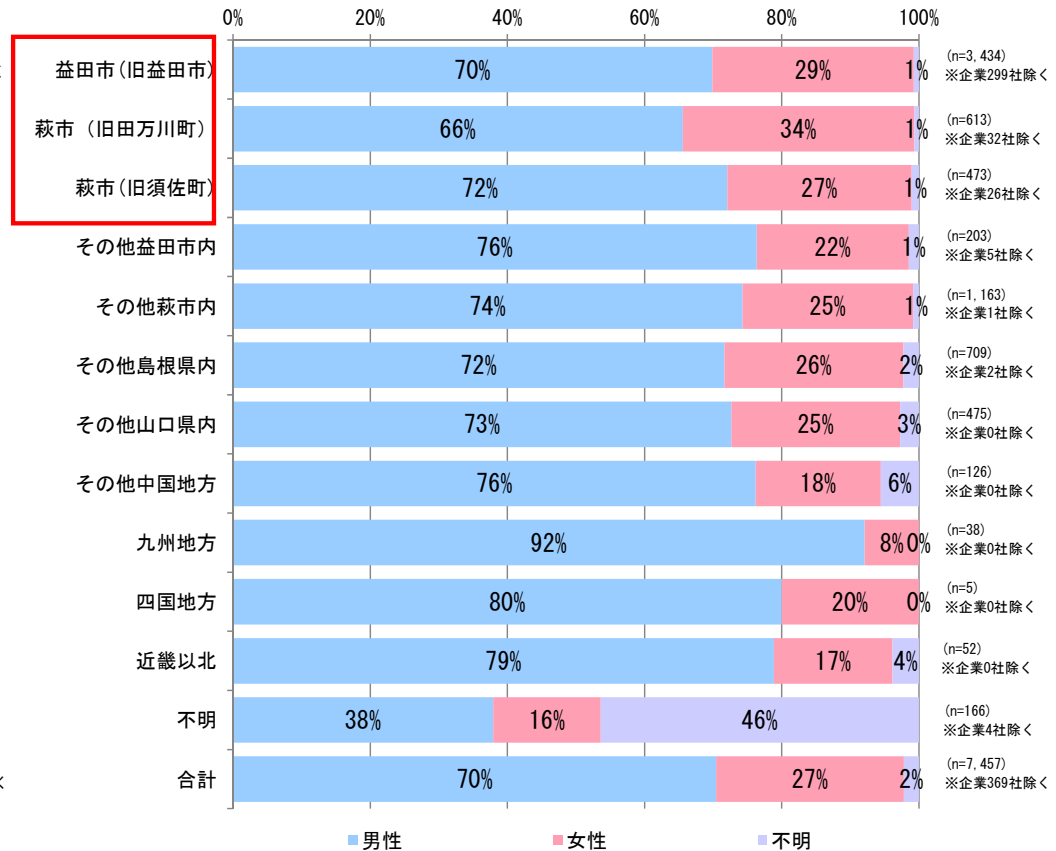
○住所別年齢は、全体でみると大きな偏りはないが、沿線地域内はその他の地域に比べて高齢者の回答割合が高い。
 ○住所別性別は、概ね男性が7割、女性が3割。

住所×年齢



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

住所×性別



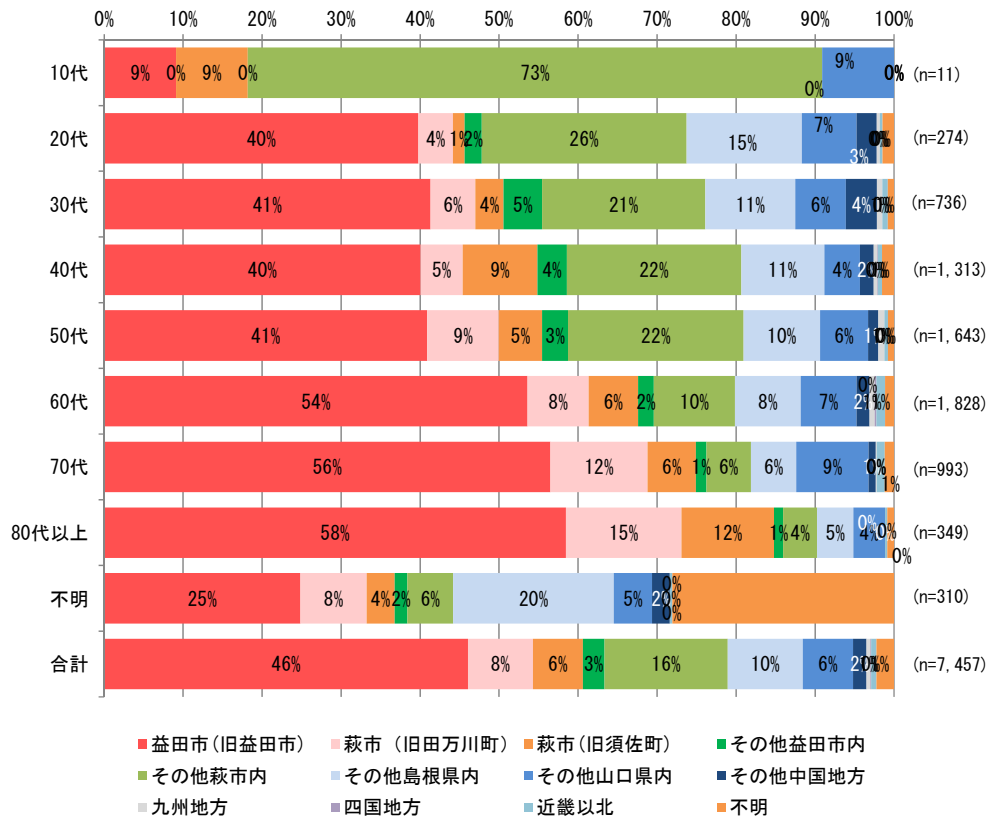
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析② (年齢別)

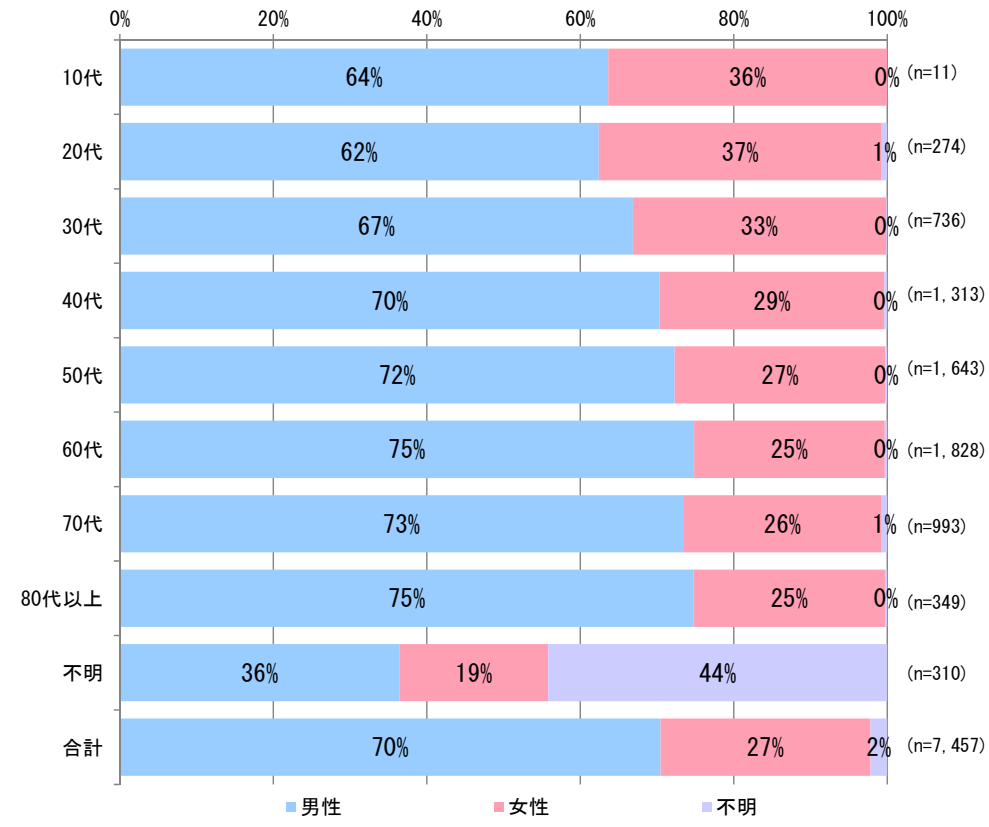
○年齢別居住地は、母数の少ない10代を除き、高齢になるほど当該地域の回答者割合が高い。
 ○年齢別性別では、年齢が上がるほど男性の回答割合が高い傾向である。

年齢×住所



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

年齢×性別



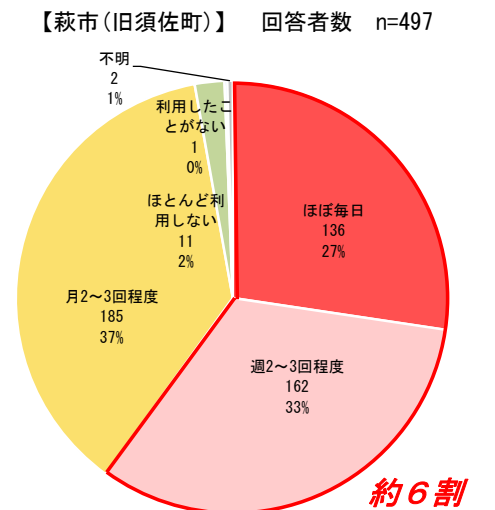
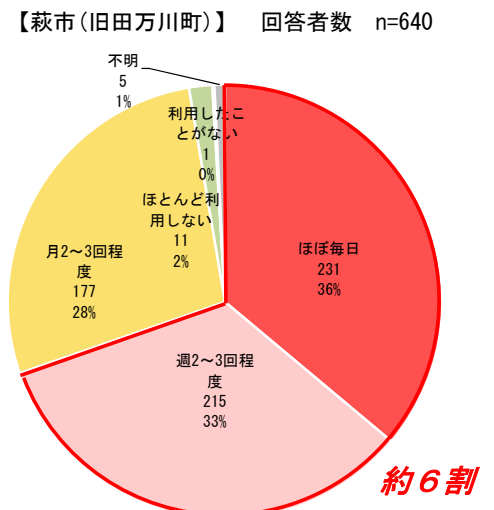
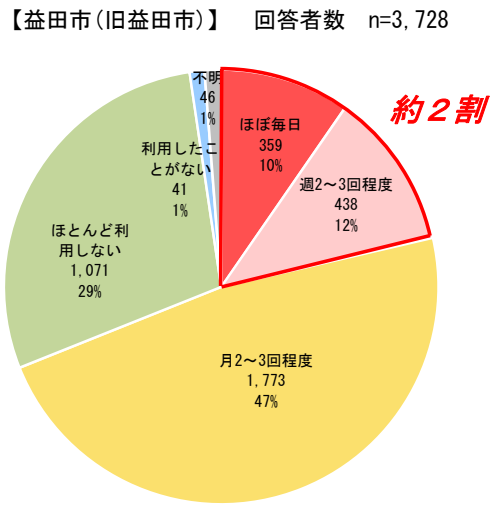
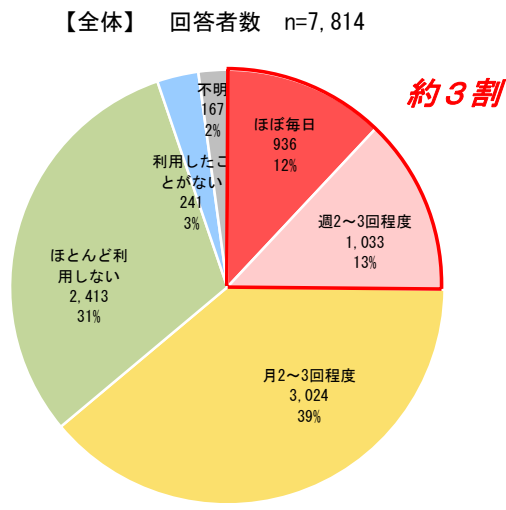
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

3. アンケートクロス集計結果

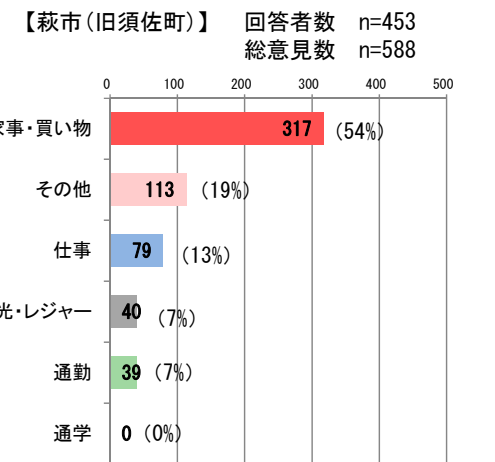
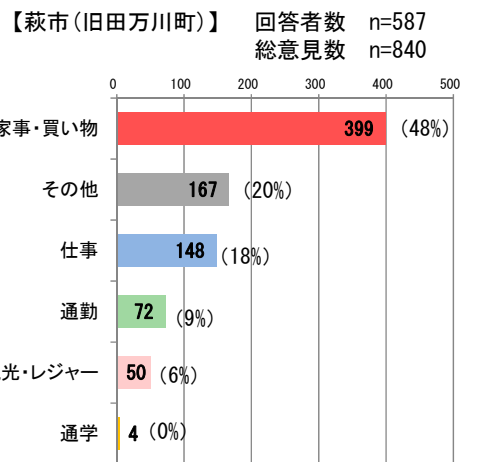
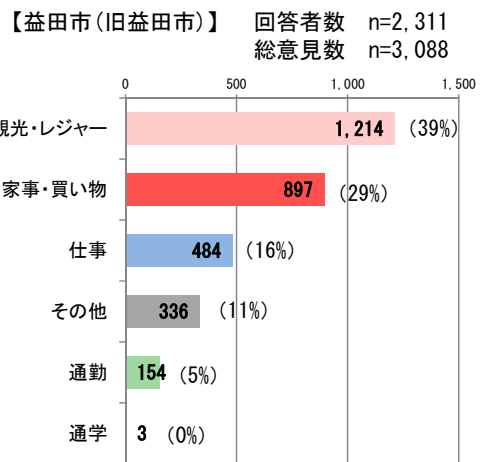
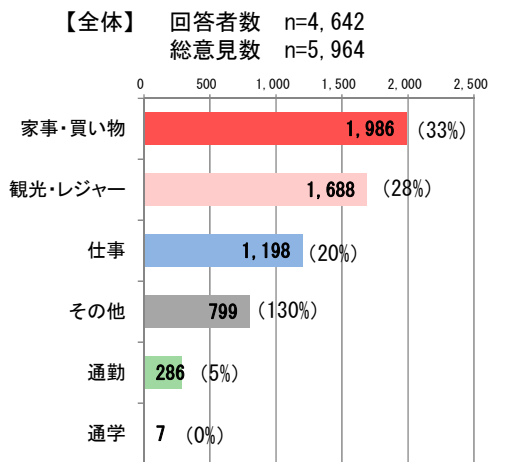
2) 利用頻度分析 (住所別)

○住所別利用頻度は、旧田万川町と旧須佐町で「ほぼ毎日」「週2~3回程度」が約6割と高い。
 ○住所別利用目的は、全体では「家事・買い物」が最も多く、次いで「観光・レジャー」となっており、旧田万川町と旧須佐町では「家事・買い物」が顕著に多くなっている。

住所×利用頻度



住所×利用目的

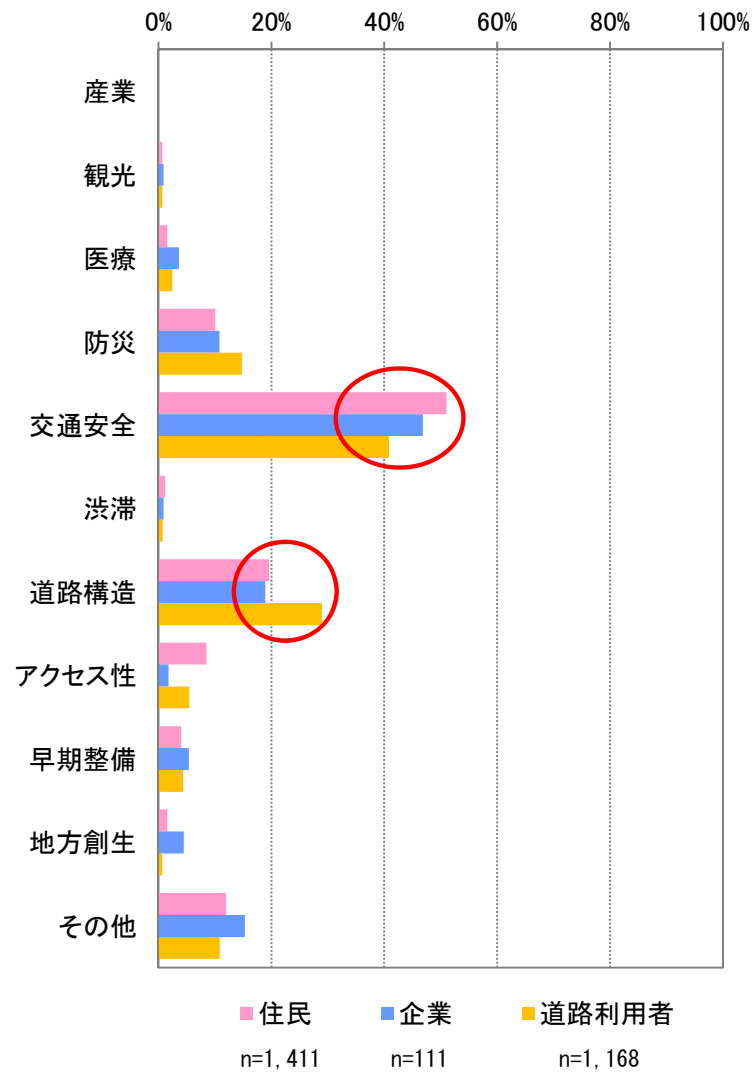


3. アンケートクロス集計結果

3) 交通課題の分析 (属性別)

○全ての属性において、交通安全に対する課題意識が最も高く、次に道路構造に対する課題意識が最も高い。

属性別の交通課題

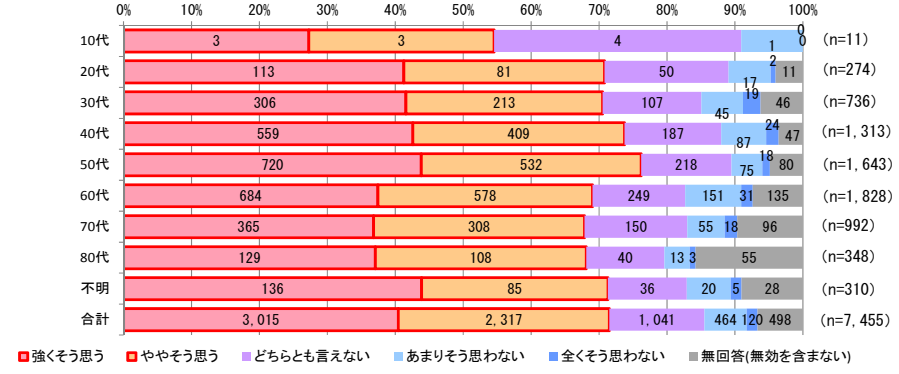


3. アンケートクロス集計結果

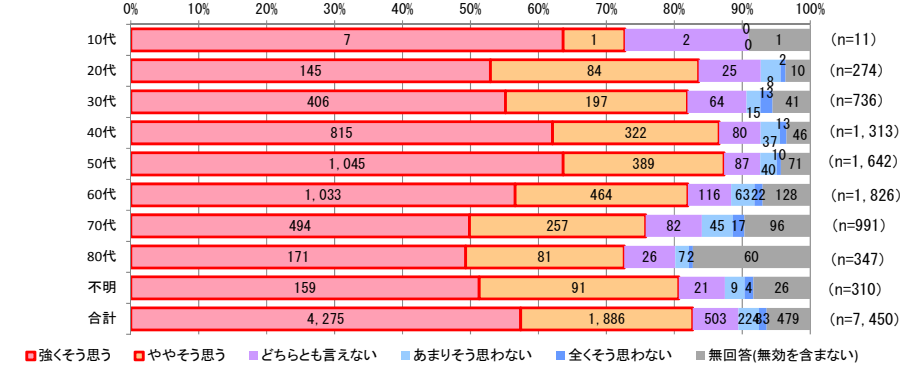
4) 地域課題の分析① (年代別)

○小浜～田万川間で感じている課題に関して、年代別でみると、各項目とも20～60代で「強くそう思う」「ややそう思う」と回答する割合が高い。

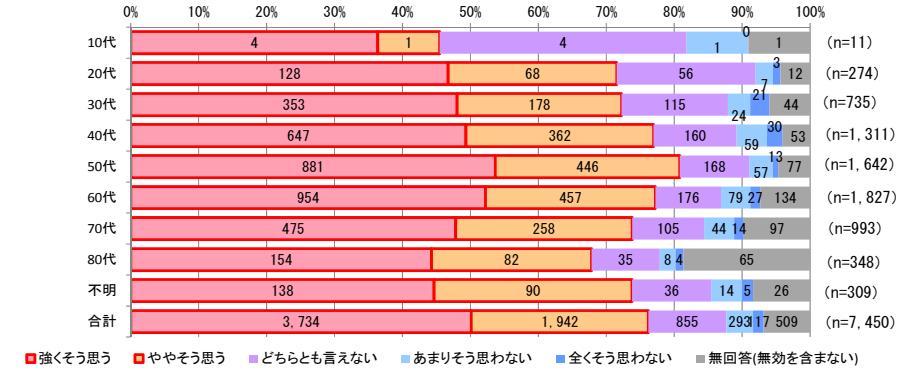
① 農業の振興への妨げ



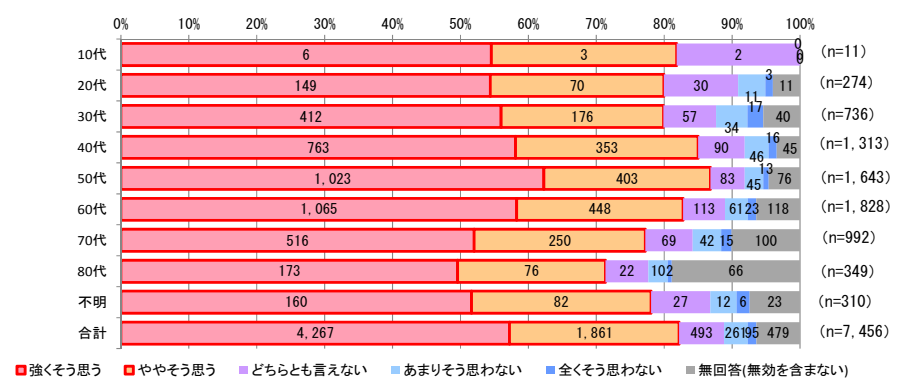
② 事故や災害時の企業活動への妨げ



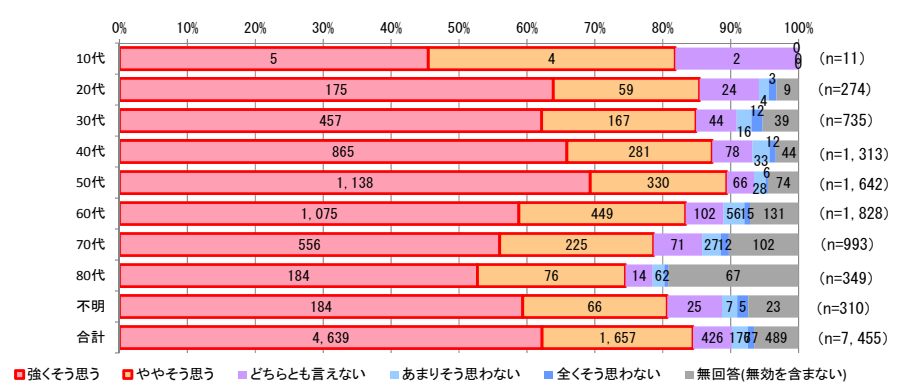
③ 企業誘致の妨げ



④ 広域観光連携の妨げ



⑤ 地域の安全・安心の確保の妨げ

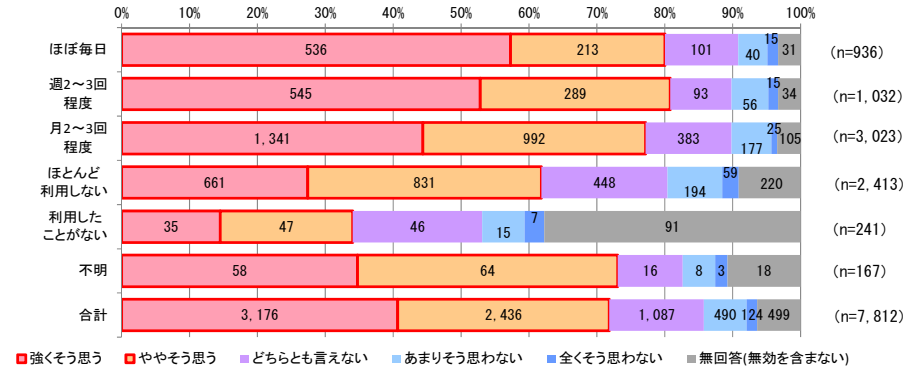


3. アンケートクロス集計結果

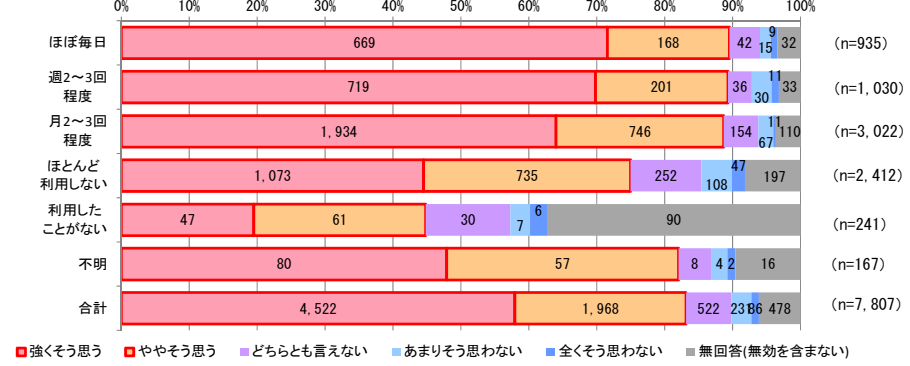
4) 地域課題の分析② (利用頻度別)

○小浜～田万川間で感じている課題について、利用頻度別で見ると、利用頻度が高いほど「強く思う」「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

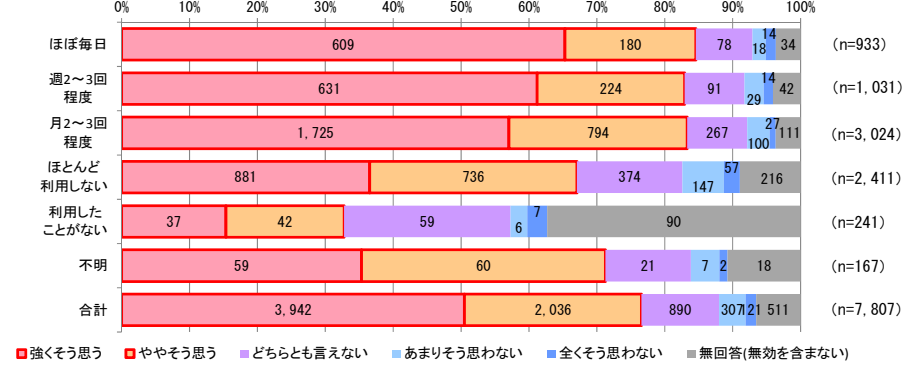
① 農業の振興への妨げ



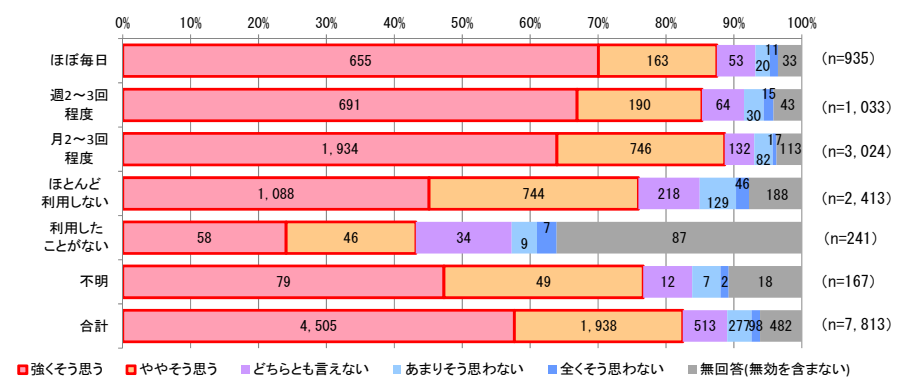
② 事故や災害時の企業活動への妨げ



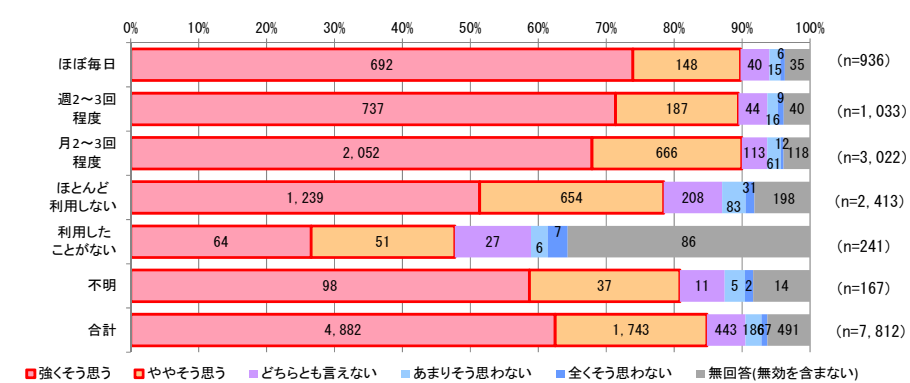
③ 企業誘致の妨げ



④ 広域観光連携の妨げ



⑤ 地域の安全・安心の確保の妨げ

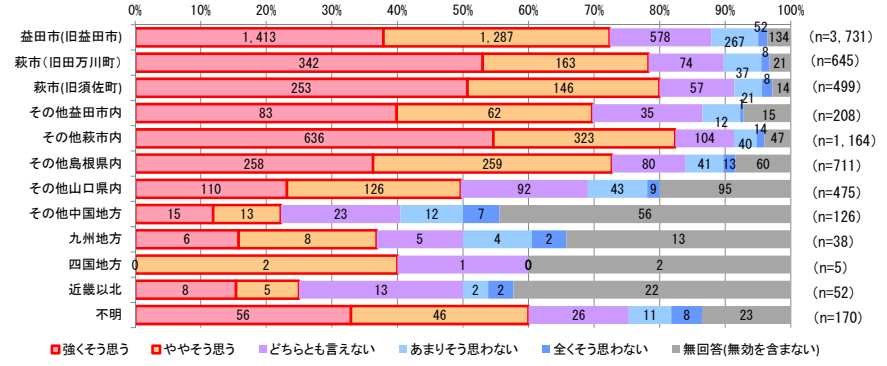


3. アンケートクロス集計結果

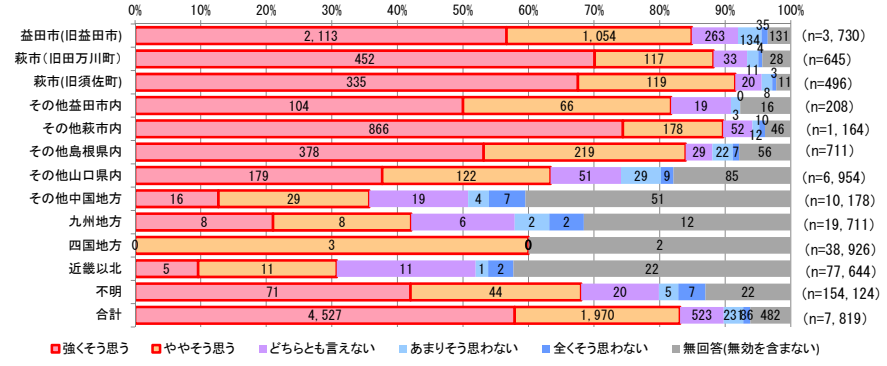
4) 地域課題の分析③ (住所別)

○小浜～田万川間で感じている課題について、住所・所在地別にみると、沿線地域である旧益田市、旧田万川町、旧須佐町のほか、その他益田市内、その他萩市内、その他島根県内で「強くそう思う」「ややそう思う」と回答する割合が高い。

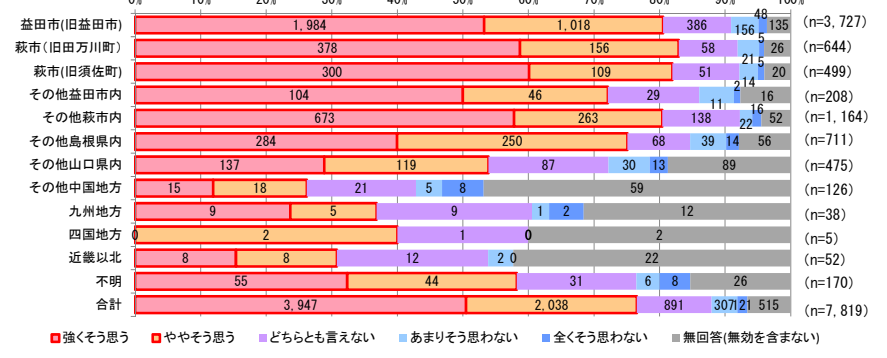
① 農業の振興への妨げ



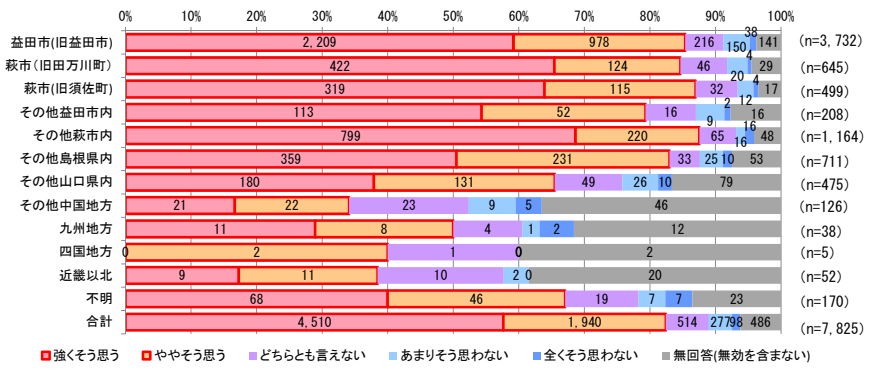
② 事故や災害時の企業活動への妨げ



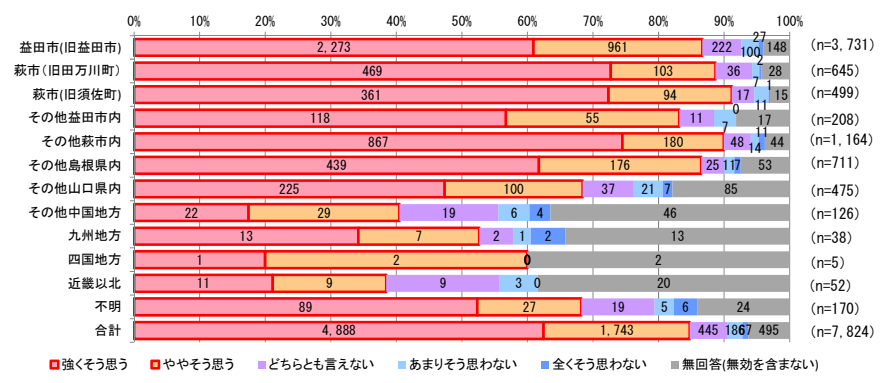
③ 企業誘致の妨げ



④ 広域観光連携の妨げ



⑤ 地域の安全・安心の確保の妨げ

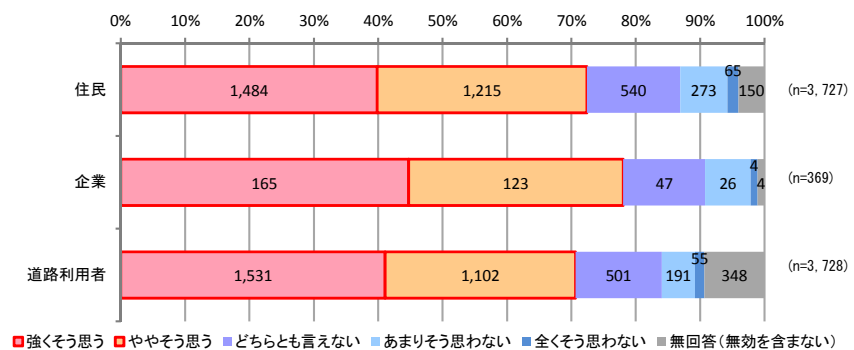


3. アンケートクロス集計結果

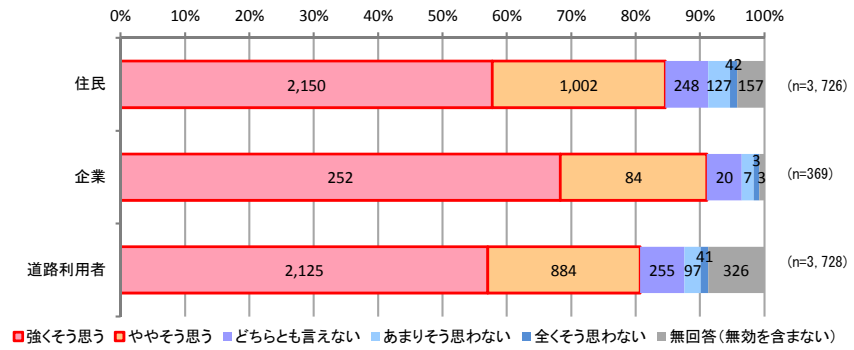
4) 地域課題の分析④ (属性別)

○小浜～田万川間で感じている課題について、属性別にみると、どの項目でも住民、企業が道路利用者より「強く思う」「ややそう思う」と回答する割合が高い。

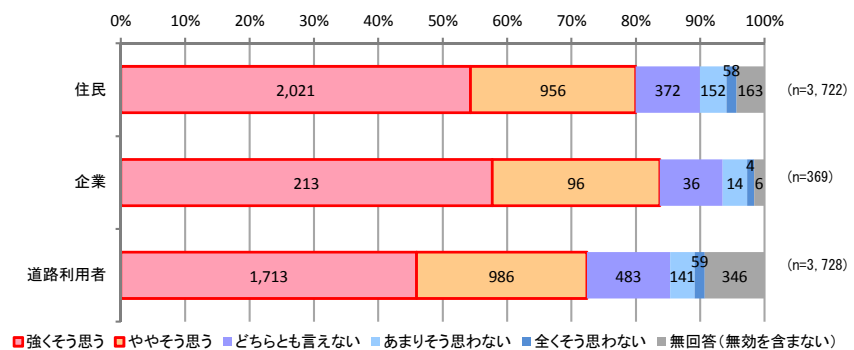
① 農業の振興への妨げ



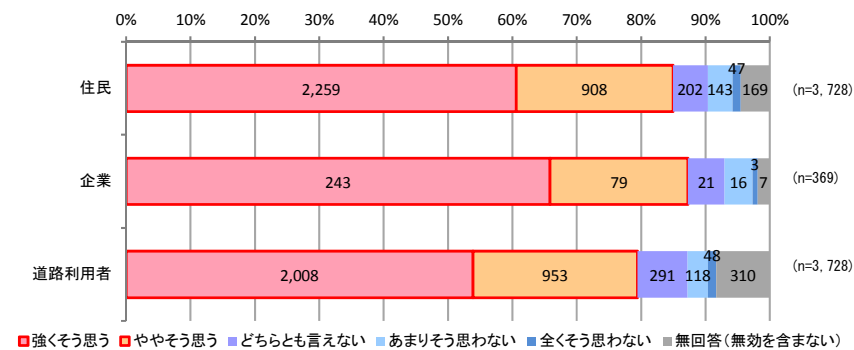
② 事故や災害時の企業活動への妨げ



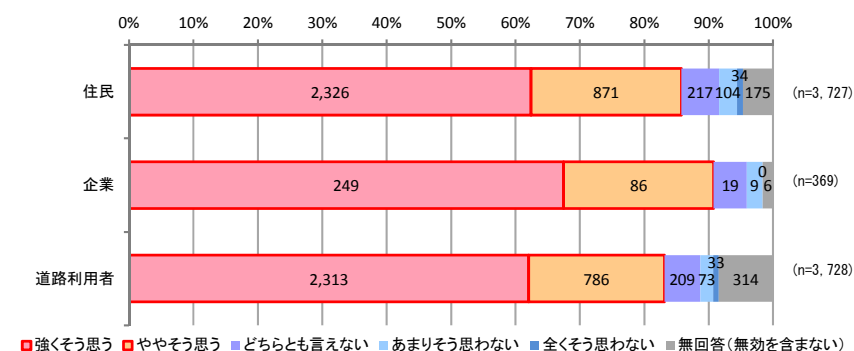
③ 企業誘致の妨げ



④ 広域観光連携の妨げ



⑤ 地域の安全・安心の確保の妨げ



3. アンケートクロス集計結果

5) 利用しやすい道路となるためのアイデア、配慮事項の分析 (属性別)

○全ての属性において、アクセス性に関する意見が最も多い。

属性別のアイデア、配慮事項

